

たかが合唱。されど合唱！ 

決して予断を許さない新型コロナウイルス禍。リスクを減らし、通常の学校生活を続けることが最優先であることは・・・。

しかし、学校行事も生徒皆さんの成長にとって大切なものであり、そのため運動会や新人体育大会なども、安易に中止にせず、皆さんの協力のもと、実情を踏まえながら可能性を探り実現してきました。そこには、やはり仲間に想いを伝え続け、また想いに応えようとする感動的な皆さんの姿が沢山ありました。

生徒の皆さんは、遅かれ早かれ必ず社会に出ます。社会に出ると、否応なしに他者との連携を求められます。それゆえ、皆さんには、一つの目標に向かって、自分が全力を出すとともに仲間を気遣う経験や共に高め合う経験が不可欠だと思います。

さて、次の舞台は飛翔祭です。今までのような飛翔祭はできません。できる限りの感染防止策を講じた合唱コンクールだけでも・・・。合唱の好き、嫌いであっても仕方がないと思いますが、一所懸命になることに、好きも嫌いも関係ありません。

たかが合唱。されど合唱。合唱への取り組みは、生徒の皆さんのこれからの生き方、全てに通ずると思います。合唱コンクールの目標は、金賞をとることですが、目的は違います。合唱コンクールを終えたときに、全員が目的を達成していて欲しいと思います。



校長 福田 幸一